

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスのぞみ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 27日 ～ 2025年 2月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年 1月 27日 ～ 2025年 2月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが確保できている	活動ごとでスペースを分けており、移動することでお子様が、次の活動への切り替えをスムーズに行うことが出来ている。また、十分なスペースがあるため、室内でも運動療育が行えている。	バーテーション等をさらに活用することで、個々の成長具合に合わせた個別療育や集団活動を行えるよう検討していく。
2	多彩なプログラム	五領域を意識したプログラムや季節に合わせた行事、イベント、外出行事、また法人内の高齢者施設との交流機会の提供などを取り入れて実施している。	それぞれの活動内容の写真を、保護者様にお伝えできるよう、情報共有方法を検討していく
3	学校などの関係機関との連携	保護者や関係機関等と緊密に連携を図り、その改善策に取り組むことができています。	保護者のニーズに応じていけるよう、関係機関との連携を緊密に図っていく。また、保護者の不安や悩みに迅速に対応し、安心していただけるよう努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応の周知	緊急時対応マニュアル等の職員への周知や研修・訓練等の実施を行っているが、保護者の方全員に伝わっていない。	保護者の方向けの資料作成を行い、契約時に配布、また掲示場所・方法等を検討し実行する。
2	資格を十分活かして日々の療育にあたるのが難しい	児童福祉事業の経験年数が少ない職員が多いため	法人内の研修の充実を図りつつ、外部研修へも積極的に参加できるよう体制を整えていく。また、職員間で研修の情報を共有することにより質の高い支援を行えるように努める。
3			